

2024年5月16日(木)

老球の細道798

「オラ！ スペインへ 序章」①

・・・ユーロバスケットボールツアー紀行〈Ⅲ〉・・・

会津バスケットボール協会 室井 富仁

今から10年前の話である。教員最後の年、葵高校においてサプライズと意気込んだが、結果的に逆サプライズで高体連県大会を終え、私のコーチングチャレンジは終わった。2学期から目標のなくなった私は、新たに3つのチャレンジ目標を設定した。①小、中学生のアスリート講習会実施②教え子と共にプレーヤーとして全会津選手権大会に出場して得点を決める③スペインコーチ研修に参加してスペインの選手育成システムを勉強する。

体調面のこともあり三つできるかどうか不安であったが、難関であったスペインチャレンジも昨日無事終了し、なんとか全てやり遂げることができた。ケガの功名、この三つのチャレンジのために体調面も徐々に回復しつつあるのは気のせいだろうか。

ところで、私が中学生の頃にフォーク・クルセダースの『帰ってきた酔っぱらい♪』というミリオンセラーのヒット曲が出た。歌詞の中に「オラは死んじゃっただー♪オラは天国に行っただー♪」という歌詞があったが、その時によく耳にした「オラ」、当時田舎言葉で「俺」という意味であった。その後はケンカを売ったり、他人に当たり散らしたりする時に「オラーッ！」「オラオラーッ！」なんて使ったりした。その「オラ」が復活した。

今回スペインに行って最も多く使ったスペイン語が「オラ！（Hola）」であった。もちろん今まで使っていたような意味ではなく「やあ！」とか英語で「ハーイ（Hi）」という気軽なあいさつを意味する言葉である。だからスペインでのユーロツアーシリーズの題名を『オラ、スペインへ』と名付けた。たいしたことではないが念のため。ちなみに私は時々「ノラ！」を連発していた。歌手門倉有希の「ノラ♪」が頭にあったからであろう。

【2014年 2月3日(月) 会津若松～成田のホテル】

今回の海外研修ツアーは9回目になるが、何度行っても準備に神経を使う。なぜなら忘れ物のリカバーができないからである。特にパスポート。日本にいるときのように家に電話をして鬼嫁に持ってきてくれるようお願いすることが海外ではできないからである。

私は基本的に忘れっぽい性格なので、何事も事前に念入りな準備をしないと必ずミスイクをしてしまう。鬼嫁からは小心者とさげすまれる。負けずに大事をなす人物は細部に気を配れる人間であると言いつつ訳をするのだが、「何か大事をなした？」と言われると「・・・・・・」と沈黙の戦艦になってしまうしかない。同じ沈黙でもスティーブン・セガールのほうは映画の中で大事をなせばなしなのが悔しい。

石橋をたたいて万全の準備をし、前泊の成田空港内のホテルへ向かった。郡山の乗り換えでマラソンの元オリンピック代表・佐藤敦史君を見かけた。彼は今春から京セラ陸上部の監督に就任すること。私は退職後どこのコーチに就任できるのやら。

東京から成田までの「成田エクスプレス」の電車の中で ANA の車内コマーシャルを見た。「人は年齢を重ねて成長するのではなく、旅によって成長する」。旅による非日常の中に私たちを成長させる刺激や試練やチャレンジがたくさんある。改めて今回のコーチングツアーへの明確な意義を意識させられた。近頃のコマーシャルコピーも「聖書」や「歎異抄」などと同じくらい良いことを言う。

〈続く〉